

第5学年 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成20年6月11日(水) 13:40～ 教室
2. 題材名 「友だちとのかかわりを深める自然教室にしよう」
(望ましい人間関係の育成)
3. 題材について

5年生になって、子どもたちは様々なことに意欲的に取り組んでいる。主体的に考え行動できる子と、それについていだけの子はいるものの、全体的には落ち着いて4月のスタートをきった。これまでに、「学級をみんなでよくしていこう」という気持ちで学級目標(「チャレンジ・絆・笑顔 最後まで協力し合おう! みんなでつくるクラスの輪」)を決めたり、自分たちで工夫しながら係活動に取り組んだりしてきている。学級集団としてはまとまっているように感じられる。

そうした中、6月16日から自然教室が始まる。5月の初めに部屋割りやオリエンテーリングのグループを決めた。4月にクラス替えをしてから1ヶ月という段階であり、人間関係はまだ希薄な状況であった。そこで、「自然教室へ向けての取り組みや、自然教室での3日間で、友だちとのかかわりを深めていこう。」と伝えた上でグルーピングを行った。子どもたちは、できるだけこれまでいっしょのクラスになったことのない友だちや、かかわりの浅い友だちと同じグループになろうと考えて決めることができた。しかし、すべてが決まった後、何とも言えない雰囲気が教室をおおった。素直な子どもたちであるため、担任の意図を汲んで決めたものの、仲の良い友だちと一緒にではなかったり、これまでにかかわりの少なかった友だちと一緒にだったりして、腑に落ちない気持ちや不安を抱えていたようである。グループ決めの際、子ども同士で揉めることがなかったのは、子ども同士の人間関係がそこまで育っていなかったためであると考えられる。

保護者との個別面談においても、「うちの子は、仲良しの友だちがなかなかできなくて・・・」「最近、友だちと遊ばずに家にいることが多くなっていて・・・」という声が続いてきた。学校では友達とそれなりにかかわり合いをもっているように見えていた子が、実は友だちとそれほど深い関係を築けていないという状況も見えてきた。

子どもたちは、そうした自分たちの状況を認識しているようである。自然教室のスローガンが「もっと知ろう 友だち・自然! みんなでつくる自然教室」に決まったのも、「友だちのことをもっと知りたい。」「友だちともっと仲よくしたい」「新しい友だちをつくりたい」という思いの表れであろう。

そこで、望ましい人間関係をまだ構築できずにいるという子どもたちの実態を自然教室を通して改善し、友だちと仲よくしたいという子どもたちの思いを具現化していきたいと考えた。そのためにも、自然教室が楽しいものである必要がある。しかし、中には友だちと過ごすことへの不安を感じている子や、みんなの輪の中に入って行くことを苦手とする子がいる。そうした中で、自分だけではなく、クラスみんなが楽しいと思える自然教室にしていく必要がある。そのためにも、一人ひとりの子どもが、この自然教室を通して友だちとのかかわりを深めていこう! みんなで助け合い支え合って楽しもうという思いをもち、それを学級全体で確認したいと考えた。一人ひとりが、友だちとのかかわりをめあてにして自然教室に臨むことで、より充実した体験活動になることを願い、本題材を設定した。

また、自然教室を通して友だちとのかかわりが深まることで、今後の学校生活が子どもたちにとってより実りあるものになっていくことを期待する。

新学習指導要領では、学級活動の目標が新たに設定され、「学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し」と明記された。また、学校行事の目標も設定され、「望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め」と明記された。このことから、特別活動において、ますます「望ましい人間関係を形成」していくことが、求められていることがわかる。

自然教室という、日常とは異なる体験活動を通して、子どもたちの望ましい人間関係を育成していきたい。今回の学級活動が、その一助となることを願っている。

4. 評価規準

活動への関心・意欲、問題の気づき	集団の一員としての思考・判断	自主的・実践的な活動・態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校生活の生活上の諸問題にかかわって、自己の課題を見出そうとしている。 ・日常の生活や学習に自ら適応しようとするともに、健康で安全な自己のよりよい生活を目指そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人及び集団の一員として必要とされる資質・能力・健全な生活を送ることの大切さなどについて理解し、自己のめあてを立てるなど、望ましい在り方などについて考え判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の課題について、設定した具体的なめあてに基づきながら、自主的に解決を図ったり、望ましい行動を実践したりする。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	児童の活動	評価()と支援()	資料
6月6日 朝の時間	・自然教室についてのアンケートを記入する。	自然教室10日前の自分の気持ちを認識できるようにする。 自分の内面と向き合いながらアンケートに答えている。	アンケート用紙

(2) 本時の活動

ねらい

友だちとのかかわりを深める自然教室にしようとする意識をもち、そのために自分ができるかかわり方を考え、実践しようとする。

展開

	児童の活動	評価()と支援()	資料
導 入	1. スローガンを確認した上で、自然教室を前にした今の気持ちを再確認する。	自然教室を5日前にした今の気持ちを発表させることで、楽しみな気持ちを再認識できるようにする。	
展 開	2. 自然教室アンケートの結果を見て、気づいたことや感想を発表し合う。 ・ほとんどの人が楽しみにしているんだな。 ・楽しみに思っていない人もいるのか。 ・多くの人か友だちとのかかわりを深めていきたいと思っているんだな。 3. 自然教室で友だちとのかかわりを深めるためにはどうすればよいかを考え、発表し合う。 ・自分だけが楽しむのではなくて、周りの友だちと一緒に楽しむようにする。 ・一人でいたり、さみしそうにしていたりする友だちがいたら声をかける。 ・オリエンテーリングなどでは、道に迷わないように協力し合う。 ・あまり話したことのない友だちともいっぱい話して、お互いを知る。	気づいたことを進んで発表しようとしている。(活動への関心・意欲、問題の気づき) アンケートの結果から、多くの児童が友だちとのかかわりを深めていきたいと思っていることに着目させる。 「自然に親しむ」など「かかわり」以外を選んだ児童も、かかわりを大切に思っていることを押さえる。 自然教室で友だちとのかかわりを深めていくためにはどうすればよいか考えることができる。(集団の一員としての思考・判断) 子どもたちの考えを、自然教室全般での友だちとのかかわり方や具体的場面でのかかわり方など、分類しながら板書することで、子どもたちが思考を整理しやすくする。	アンケート結果のグラフ
終 末	4. 6年生からのアドバイス(ビデオレター)を見る。 5. 自然教室で友だちとのかかわりを深めていくために自分のめあてを考え、めあてカードに書き、発表し合う。	事前に6年生に活動の意図を説明し、5年生へのビデオレターを作成してもらおう。 友だちとのかかわり方を視点に、自分が実践できそうなめあてを立てている。 (集団の一員としての思考・判断) 自分がすぐに実践できるように簡潔に書くように伝える。	6年生からのビデオレター めあてカード

(3) 事後の

活動の場
6月1日
6月1日
自然
6月2日
朝
日常の可

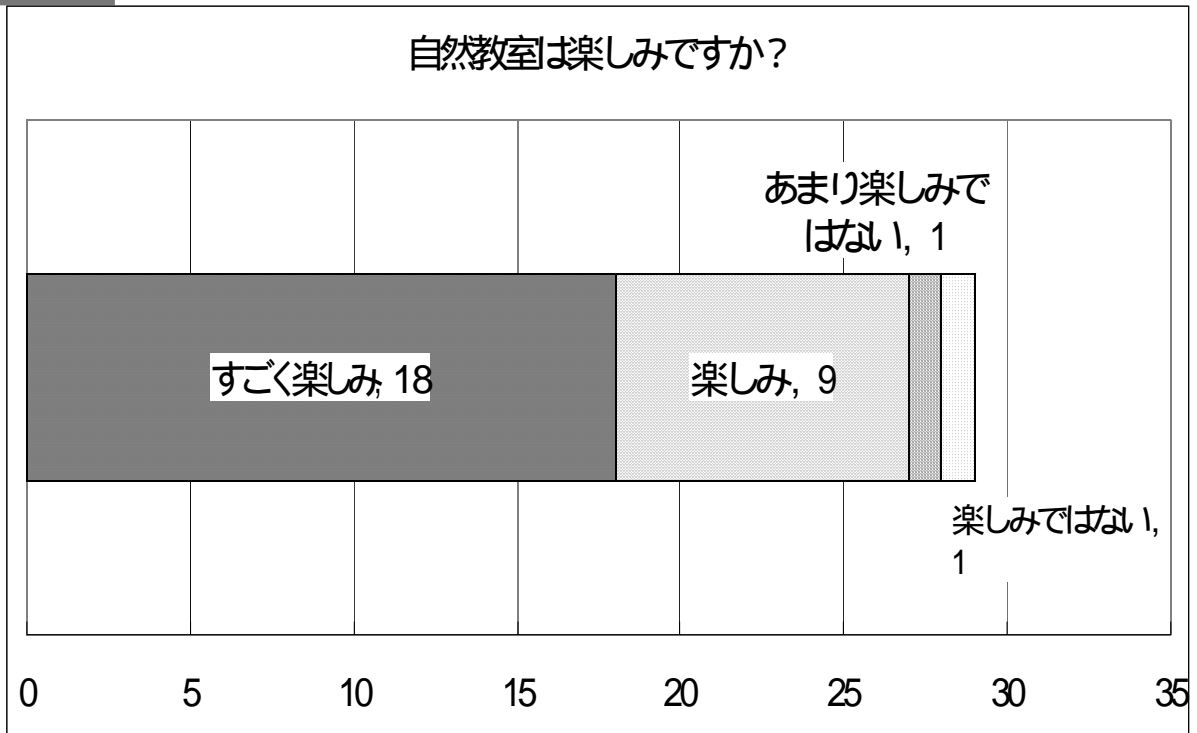
.....

6. 資料

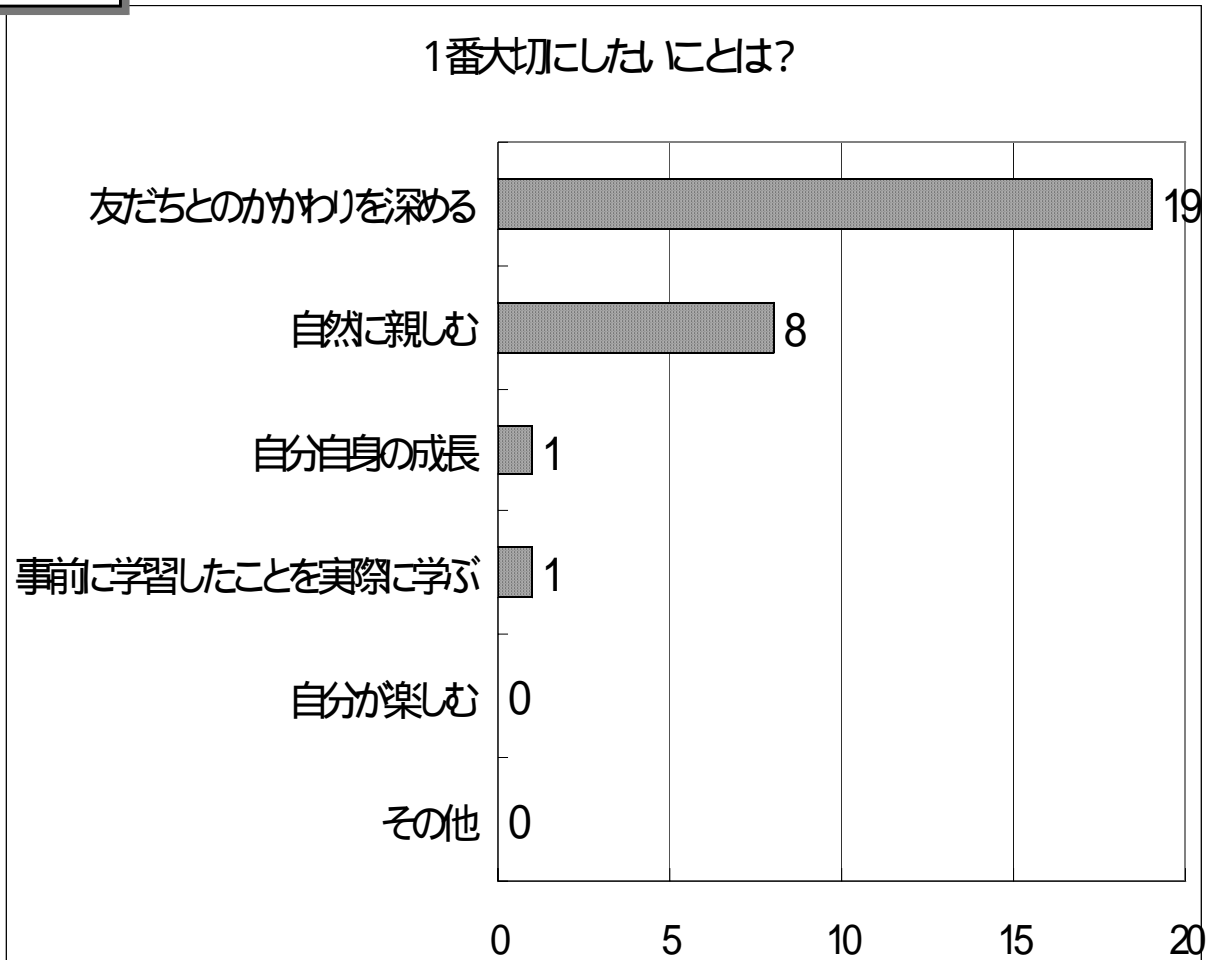
資料

.....
.....

グラフ



グラフ



ア、友だちとのかかわりを深める

- ・まだ、あまり友だちとの絆が深まっていないから、男女関係なく遊んだら、とっておきの学年になると思う。
- ・スローガンが「もっと知ろう友だち」だから。
- ・友だちが少ないので、友だちとのかかわりを大切にしたら1人くらい友だちができるかもしれない。
- ・みんなといっしょだったら何もかも楽しくなって、学校へも楽しく来れるから。
- ・友だちと協力してお互いのことをもっと知りたいから。
- ・今まで仲よくなかった人と少しでも近づけるようにしたいから。そして、仲のいい人とももっと深めていきたいから。
- ・友だちと仲よく助け合うのはいいことだから。
- ・これからも楽しく生活できるから。
- ・もっと、かかわりあって友情を深めていきたい。
- ・友だちとのかかわりながら自然ともふれあいたい。
- ・5年生全員と友だちになりたい。
- ・3日間ずっといっしょに過ごす仲間だから楽しくやっていきたい。
- ・絆は大切だと思うから。
- ・自然教室がとっても楽しそうだから。
- ・今まで仲よくなかった人と仲よくなるために。
- ・友だちと生活していくから絆を深めるチャンス。
- ・自然教室は、メンバーと協力しないとうまくいかないから、かかわりを深めてなかなかりたい。
- ・勉強も大切だけど、友だちとのかかわりを深めた方がいいから。
- ・楽しいことがもっと楽しくなるから。

イ、自然に親しむと

- ・たしかに友だちとのかかわりを深めることも大切だけど、かかわりを深めることはこれからのできるから、自然と親しむことを大切にしたい。
- ・せっかく自然教室に行くから、自然に親しんだ方がいいと思う。
- ・自然で植物や昆虫などの生きものを見つけ観察などをしたいから。
- ・自然が好きだから、川崎では見られない生きものも見られると思ったから。
- ・自然教室なんだから自然と親しんだ方がいいと思うから。
- ・川崎は自然が少ないので八ヶ岳を通して自然と親しみたい。
- ・ふだんは、自然と親しむことはあんまりないと思うから。スローガンにも合っている。
- ・「友だちとのかかわりを深める」と迷ったけど、学校で友達とのかかわりは深まっているから、川崎には少ない自然に親しむを1番にした。それ以外は全部自分のことだからやめた。

ウ、自分自身の成長

- ・ウにした理由は、自分が成長すれば友だちとのかかわり方も変わって行って、楽しい自然教室のあとも、友だちがたくさんできて、いい1年間になると思うから。あと、自然とのかかわり方が変わると思うから。

エ、事前に学習したことを実際に学ぶ

- ・友だちとのかかわりも大切だと思うけど、みんなで作ったレポートを参考にして、実際に学びたい。



平成20年度自然教室



1. ねらい

- 集団生活のルールを守り、共同生活の良さや楽しさを味わい、友情を深める。
- 豊かな自然環境の中で、自然に親しみ、自然を大切にする。
- 自分から進んでものごとに取り組み、他人に迷惑をかけないようにする。

スローガン

わたしのめあて

めあてを決めた理由を書こう！

2. 日にち 平成20年 6月16日(月)～6月18日(水)

3. 場所 「川崎市八ヶ岳少年自然の家」
〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町字広原12067-482
TEL. 0266-66-2011

4. 児童 第5学年児童全員
1組 男子10名 女子21名
2組 男子12名 女子18名
3組 男子13名 女子19名

男子35名 女子58名 計93名

